

天童市食育・地産地消推進計画（案）の概要

◇計画策定の趣旨

「第二次天童市食育推進計画」及び「天童市地産地消推進計画」の見直しにあたり、これまでの成果と課題、社会情勢の変化などを踏まえ、健康的な食生活による健康づくりや、地域経済の活性化など、食育及び地産地消に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

◇計画の位置づけ

本計画は、食育基本法第18条に基づく市町村食育推進計画として策定する。また、地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（六次産業化・地産地消法）第41条の規定に基づく地域の農林水産物の利用促進についての計画として策定します。

◇計画期間

本計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

◇食育・地産地消の推進に向けた課題

- ・ 食育・地産地消に関心のある人の増加
- ・ 生活習慣病の予防や肥満、栄養バランスに配慮した食生活の取組み
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向け、社会や環境に配慮した消費行動や食品ロスの削減
- ・ 社会のデジタル化の進展を踏まえ、デジタル技術を活用した情報の発信
- ・ 郷土料理や行事食の継承と食農体験の継続・発展
- ・ 地場産農畜産物の利用拡大と産地直売所の充実や6次産業化の推進

◇基本理念

「市民一人ひとりが食への理解を深め、健康で心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」

食は生きる上での基本であり、市民一人ひとりが食の重要性を改めて認識し、食に関する知識と食を選択する力を習得して適切な食生活を実践することが重要であります。

本計画の食育・地産地消を関係機関が連携して推進し、市民一人ひとりが食への理解を深め、健康で心豊かに生活できる持続可能な地域社会を目指します。

◇施策の展開

基本目標1 生涯を通じた健康を支える食育の推進

基本施策：**1-1 食による心身の健康づくりの推進** **1-2 地域社会における食育の推進**
1-3 健康づくりの基本となる望ましい生活習慣の確立

「人生100年時代」をいきいきと健康で暮らしていくために、食に対する正しい知識と理解を深め、健康的な食生活を実践する力を養えるよう、乳幼児から高齢者まで切れ目のない食育を推進します。

【主な実施施策】

- 1-1 ①乳幼児期における食育の推進（規則正しい生活リズムを身に付け、食の体験を広げる）
 ②学童期・思春期における食育の推進（食の体験を深め、望ましい生活習慣の形成と定着）
 ③青年期・壮年期における食育の推進（栄養バランスに配慮した健全な食生活による健康維持・増進）
 ④高齢期における食育の推進（低栄養予防による豊かな生活の実現）
- 1-2 ①家庭における食育の推進（食や栄養に関する情報提供と意識の醸成）
 ②学校等における食育の推進（地場産農畜産物の食材を使った給食等により、食の理解を図る）
 ③地域における食育の推進（人材育成と食育教室や各種イベントを活用した健康づくり）
- 1-3 ①「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進（「早寝・早起き・朝ごはん」の普及啓発）
 ②家族や仲間との共食の推進（「食育の日」にあわせた「家族団らん」の啓発）

基本目標2 持続可能な食を支える食育の推進

基本施策：**2-1 食の循環や環境を意識した食育の推進** **2-2 郷土料理・行事食の継承**
2-3 食の安全・安心の確立 **2-4 人材の育成及び活用の促進**

食の知識だけでなく、食の様々な体験を通して、農業や環境との関わりを理解し、地域の食文化を継承しながら食を支える環境の持続に資する食育を推進します。

【主な実施施策】

- 2-1 ①環境にやさしい食生活の推進（エコクッキングなど学習の場の提供と食品ロス削減等への理解促進）
- 2-2 ①家庭や故郷の料理の継承（子どもが郷土料理を味わう機会の充実）
- 2-3 ①食品の安全性や表示等に関する情報の充実（食品表示等の知識の普及啓発）
 ②安全・安心な農畜産物の提供の推進（顔の見える農畜産物の提供、環境保全に資する農業者の支援）
- 2-4 ①ボランティア等の人材の育成及び専門的知識を有する人材の活用（学校等での地域の人材活用）

基本目標3 地産地消の推進

基本施策：**3-1 地場産農畜産物の消費拡大と情報発信**
3-2 生産者と消費者の交流活動の活性化

農業を活性化し、将来にわたって安全・安心な食料を供給するとともに、新しい時代に対応した農業・農村の発展につながる地産地消を推進します。

【主な実施施策】

- 3-1 ①学校給食等への地場産農畜産物の導入促進（給食への地場産農畜産物の利用促進）
 ②6次産業化の促進（商品開発や販路拡大に取り組む団体の支援）
 ③地場産農畜産物に関する情報発信の促進（地産地消に関する情報提供の充実）
- 3-2 ①交流・体験イベントや産地直売所の充実（産地直売所や農業体験イベント等に関する情報発信）

◇数値目標（令和8年度）

項目		目標値
1	食育に関心がある人の割合	90%
2	朝食を毎日食べる人の割合	
	小学6年生	96%
	中学3年生	95%
	若い世代(20~30歳代)	85%
3	朝食または夕食を家族揃って食べる割合	65%
4	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べる人の割合	60%
5	生活習慣病の予防や改善のために気をつけた食生活を実践している人の割合	
	塩分をとり過ぎないようにしている人の割合	65%
	野菜やきのこ、海藻などの料理を毎食とるようにしている人の割合	60%

項目		目標値
6	郷土料理や伝統料理、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味などを受け継いでいる人の割合	70%
7	家庭系食品ロス発生量	812t

項目		目標値
8	地産地消に関心がある人の割合	90%
9	天童市産や山形県産の農畜産物を選んで購入している人の割合	75%
10	学校給食における天童市産や山形県産の農畜産物使用割合（金額ベース）	70%